

## 5. コロンビアの体質 1

「コロンビアへの扉」というタイトルに従えば、コロンビアの一般的な国情に言及しないというわけにはいかないだろう。最近、サッカーのワールドカップなどでコロンビアの認知度が上がったというものの、過去のマイナスイメージ「麻薬、ゲリラ、治安の悪さ」がいつまでもつきまとっているのも事実である。

今のコロンビアを知って貰いたいという思いから、基本的資料を引っ張り出してきた。留学兼所員時代と現在の仕事を合わせて、コロンビアの滞在が15年を過ぎたので、その滞在体験を交えてコロンビアという国を描写したいと思う。

### 5.1 地域性と人間性

「コロンビア人は〇〇である」という一般化は大変難しい。それは日本人の場合も同様である。本連載の第3回で述べた「コロンビアの人種構成」は、主に人類学的な部分の構成を簡略的に提示したものである。ここでは、環境や地域の中で暮らしている人間、地域や習慣の多様性を考察することによって、コロンビア人を少し分析・解剖してみたい。当然のことかもしれないが、地理や地域の外面的な要素によって多様性が現れるだけではなく、その逆も真なりで、地方の習慣や文化が多様性を作り出し、形成してきている。多様な人間性が存在するのが普通であると考え。そのために、各地域性についてまず述べて、その中にも型もしくはパターンを説明する。

#### 5.1.1 地域の多様性

\* 地方と人間性：日本でも北と南では気候が異なる。その違いによって、人間の共通性があるのと同じように、コロンビアにおいてもその気候が人間形成において影響が強いし、また人種構成が異なる。コロンビアの面積は1,141,748km<sup>2</sup>、ちなみに日本は377,915km<sup>2</sup>だから、コロンビアの面積は日本の3倍強の大きさということになる。この国土を行政的には33の区分（県数は32県だが、ボゴタ首都特別地区を別として考える）である。2019年時点で、全国で1,099の市町村が存在する。この国土を以下の6つの地域に分けるのが一般的である。

\* 6つの地域：

- 1) カリブ海岸地域（コロンビア北部地域）
- 2) 太平洋岸地域（北部）
- 3) アンデス地域（コロンビアの中央部分）
- 4) アマゾン地域（南東部）
- 5) オリノコ地域（東部平原地域とも言う）
- 6) 島嶼地域

この6地域であるが、上の区分は行政的ではなく、地理的、動物群、植物群、水路体系、土地の隆起、気候や文化、人種も含めた要素が根底になって分類されてある。当然ながら、各地域にはざっくりとした色合いがある。アンデス地域やオリノコ地域はスペインやメスティソ（白人と先住民の混血）の習慣が突出し、異種混合、すなわちスペイン・先住民の融合文化の地域である。一方、太平洋岸地域、島嶼地域、カリブ海岸地域は、黒人が極端に多く、その他、白人と黒人の混血（ムラート）<sup>(1)</sup>も存在する。そしてアマゾン地域は特に先住民の文化が根強い。

人間性を調べるには地域の特色が有意義であるので、以下まず簡略的に地域を解説したいと思う。<sup>(2)</sup>

#### 1) カリブ海岸地域

コロンビアの北部、カリブ海岸沿岸地域を指す。その範囲は

151,118km<sup>2</sup>の広さがあり、ウラバ湾、パナマとの国境からベネズエラの国境のグアヒラ半島。南側は西及び中央アンデス山脈、北側はカリブ海である。気候は熱帯性だが、北東からの海風が吹いて気候は良い。チョコー県、アンティオキア県、セサル県、スクレ県、マグダレーナ県、グアヒラ県、コルドバ県、サントアンデール県、アトランティコ県、ボリバル県の10県にかかっている。



[https://upload.wikimedia.org/wikipedia/commons/0/07/Mapa\\_de\\_Colombia\\_%28regiones\\_naturales%29.svg](https://upload.wikimedia.org/wikipedia/commons/0/07/Mapa_de_Colombia_%28regiones_naturales%29.svg) より

この地域の北東部、グアヒラ県に広大な砂漠地帯がある。産業でいえばそのグアヒラ県の塩、石炭産業が有名である。その他、農業、畜産業、漁業そして、地域の景観や風景が素晴らしいので、この地域はコロンビアの中でも観光業が重要な産業である。国立公園や特別自然保護地区も数多くある。また、この地域には先住民の保護地域があるのも特色で、いくつもの遺跡が存在する。コロンビア人の誰もが知っている、カリブ海地域の先住民の名称は「ワジュー (Wayuus)」と「コギ (Koguis)」である。沿岸地方で意外なのが、この地域にコロンビアで最も高い Sierra Nevada de Santa Marta (シエラネバダ・デ・サントマルタ) という山があることだ。その高さは5,775 m。

#### 2) 太平洋岸地域

コロンビアの西部、北はパナマとの国境付近からウラバ湾を抜け、南はエクアドルの国境までの海岸地域である。領域の広さは83,170km<sup>2</sup>。この地域の東側は西アンデス山脈、アンティオキア県、バージェデルカウカ県、カウカ県、ナリーニョ県、チョコー県の一部が含まれている。気候は雨量が多いため、年間の湿度が非常に高いということである。ちなみに年間降水雨量の平均が地域全体で4,000mm、また12,000mmの地区もある。ちなみに日本で一番降水量が多い県である高知県でも年間3,600mmほどであるから、いかに多いか理解できるだろう。またこの地域の特徴は密林、山が多い、河川が多い、海岸線など地理的な変化に富んでいることだ。

人種構成に特徴があり、圧倒的に黒人が多い。92%が黒人、5%が白人で、3%が先住民である。<sup>(4)</sup>92%の中にはムラート（黒人と白人の混血）、サンボ（黒人と先住民の混血）も入っている。したがって、アフロ系コロンビア人という名称で呼ばれている通り、この地域はとくにアフリカの文化、音楽、食生活が色濃く残っている。楽器ではアフリカ起源とされる「マリンバ」や、アフリカの音楽にとって欠くことできない打楽器類の演奏が盛んで、パーカッションや太鼓での激しいリズムが特徴。「太平洋岸の音楽」(música del Pacífico) と言えば、この種の音楽、つまりアフリカを起源とする音楽を指している。

[註]

- (1) <https://www.colombian.com.co/vida/regiones-de-colombia/>
- (2) Atlas de Colombia, Editorial Educativa Kingcolor S.A. 2009 参照
- (3) <http://grading.jp.org/SRB02402.html> 都道府県格付研究所参照
- (4) <https://www.colombian.com.co/vida/regiones-de-colombia/>